

うっしっしいー情報2015

10月市



豊岡農業改良普及センター

10月14日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が97万2千円、雌が84万9千円でした。

普及センター調べ（税込価格）

（本人落としも含むため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
宍粟・佐用	6	0.937	931,860	11	0.814	811,473	17	853,962
篠山	3	0.884	926,280	1	0.768	702,000	4	870,210
丹波	23	0.980	984,584	15	0.861	819,792	38	919,535
朝来	8	0.863	890,730	5	0.919	872,640	13	883,772
播磨	18	0.912	937,800	7	0.812	790,560	25	896,573
美方郡	73	0.973	992,875	48	0.860	883,395	121	949,445
豊岡	21	0.946	941,091	10	0.896	849,096	31	911,415
養父	27	0.975	989,040	12	0.865	832,590	39	940,902
摂津・神戸	1	0.934	959,040	1	0.797	717,120	2	838,080
県北C	2	0.925	964,440	1	0.888	814,320	3	914,400
市場全体	182	0.957	971,739	111	0.858	848,997	293	925,239

10月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	芳悠土井	49	0.967	987,980	20	0.886	887,112	69	958,743
2	照忠土井	12	0.969	995,670	5	0.819	823,608	17	945,064
3	丸宮土井	29	0.959	1,008,012	17	0.838	836,111	46	944,483
	総計	168	0.955	968,027	97	0.861	846,286	265	923,465
4	福芳土井	7	0.983	934,971	3	0.957	809,280	10	897,264
5	芳山土井	37	0.941	920,452	26	0.888	857,686	63	894,549
6	千代藤土井	4	0.902	932,850	6	0.885	860,940	10	889,704
7	丸富土井	17	0.929	963,678	16	0.805	803,588	33	886,058

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	芳悠土井	A+	B → A	A	A → B	A	A++
2	照忠土井	B	A+++	A+	A+	A+++	A+
3	丸宮土井	B	B	A+	A++	A++	A++
4	福芳土井	A++	B	A++	C	C	A
5	芳山土井	A+	A++	A++	C	A++ → A+	A++
6	千代藤土井	A	A+++	C	A++ → A+	A++	A++
7	丸富土井	B	A++	D	C	A	A++

北部農業技術センター提供 (育種価評価は平成27年7月現在)

飼料給与の目安は、もっていますか？

～活用編～

先月号（9月）は、母牛に給与している飼料の量が適切かどうかを判断する計算方法について説明しました。今月号は、その結果をどのように判断し、活用するのかについて説明します。

1 前回の計算結果から考えられる事

各種充足率の結果は、表1のとおりです。数値が明確になると100%が正しいと思いがちですが、充足率の適正な範囲は、100～110%ぐらいと考えて下さい。

乾物量 DM	可消化 養分総量 TDN	粗蛋白質 CP
94	108	120

(1)充足率の結果から考えられる可能性

- ①乾物量（以下、DM）は、94%とやや少ない結果です。乾物量が不足すると母牛がお腹を空かせ、敷料のワラを食べたり、ストレスによって「舌遊び」や、さらには繁殖性の低下を招く恐れがあります。
- ②可消化養分総量（以下、TDN）は、108%と多いですが、牛に悪影響を与える可能性は低いです。
- ③粗蛋白質（以下、CP）は、120%と多い結果です。CPが多いと繁殖率に影響すると言われています。

以上の結果から、DMを増やしCPを減らすことが改善策となります。

(2)日々の世話で判断できる技術

①糞の状態

臭かったり、粘着性のある柔らかさであったりする場合は、草の量が少ない。あるいは、濃厚飼料の量が多い傾向にあります。特に粗蛋白質含量の高い飼料を給与している時は、この傾向にあります。

②被毛の状態

一般的に「毛づやが悪い」と言われる状態では、栄養が足りていない事が多いようです。今回の飼料計算の前提条件にしている母牛の状態（維持期）での被毛の色は、後駆～前駆にかけて赤褐色が良いと言われています。

③牛の太り具合

後ろ3本の肋骨の見え隠れを目安にしています。具体的には、後ろ肋骨から数えて2本見えている状態をベストとし、3本見えている場合は痩せ気味、1本の場合は太り気味と判断し、給与量の調整をします。

また特定の部位を触診し、「栄養度判定」する方法もあり、興味のある方は、普及センターの職員にお尋ね下さい。

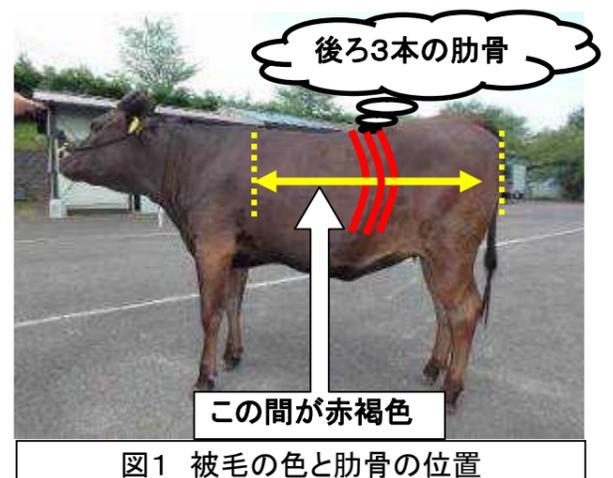


図1 被毛の色と肋骨の位置

2 いよいよ飼料内容と量の改善

(1)具体的な改善方法

今回の計算結果から考えられる改善内容は、DMを増やしCPを減らすことです。前回の飼料の種類でDMの充足率を100%に近づけると、CP充足率も増加します。そこで、粗飼料で栄養価の低い稲ワラを使うことにします。改善案は図2のとおりです。イタリアンを1kg減らし、新たに稲ワラを1.5kg追加します。粗飼料全体としては、5kgから5.5kgと0.5kg増やします。一方、濃厚飼料は、改善前1kgから0.1kg減らし0.9kgとします。その結果、充足率は全て100～110%の範囲に収まりました。

(2)改善する前にちょっと・・・

各充足率を適正範囲に収めることも大切ですが、家畜である繁殖和牛にとって最も大切なことは、「1年1産する（実際には400日前後ですが）」ことです。1年1産していれば、牛が多少太っていようと痩せていようと、また、お腹を空かせていようと、現在給与している飼料内容は問題なしと言えます。7月号で明記しましたが飼料計算の結果は、あくまで目安です。牛の状態を観察しながら今回の改善方法を参考にして、農場にあった1年1産の飼料メニューを作っていきましょう。

内容	各種成分			改善前 給与量と給与成分量				改善後 給与量と給与成分量			
	DM	TDN	CP	量(kg)	DM	TDN	CP	量(kg)	DM	TDN	CP
イタリアン	86.0	46.0	8.0	5.0	4.30	2.30	0.40	4.0	3.44	1.84	0.32
配合飼料	90.0	68.0	13.0	1.0	0.90	0.68	0.13	0.9	0.81	0.61	0.12
稲ワラ	87.8	37.6	2.0	0.0	—	—	—	1.5	1.32	0.56	0.03
合計					5.20	2.98	0.53	合計	5.57	3.02	0.47
充足率					94	108	120	充足率	101	109	106

図2 飼料給与内容の改善前と後

次回は、お腹の赤ちゃんが一番大きくなる妊娠末期や母牛が乳を出している時など、母牛のステージにあわせた飼料計算方法について説明します。